

# 求真

Kyushin

第28号

## 特別寄稿 Special Contributions

- 楊 立華 所以と必然—朱子の天理観再考  
林 鎮国 島嶼を巡る—レーヴィット、洪耀勳、牟宗三とハイデガー哲学  
【特集】日本哲学ワークショップ：物語り論の今  
張 政遠 序文  
野家 啓一 物語論をunlearnする  
鹿島 徹 田中小実昌『ポロポロ』の「物語」考察  
林 永強 物語ることと聞くことのはざまで  
—感じ取ることについての試論  
廖 欽彬 物語論のゆくえ  
張 政遠 物語と日本哲学について

## 研究論文 Research Papers

- 郭 旻錫 朴鍾鴻「ウリ」の哲学における民族的自己認識  
—三木哲学受容を一つの軸として  
満原 健 明治期における桑木巖翼の認識論  
眞田 航 純粹経験の有限性について  
—『善の研究』までの西田幾多郎の思想的変遷から  
Bartneck Tobias Kenosis Seen from the Standpoint of Nishitani Keiji: Towards  
a New Understanding of the Kyoto School's Interpretation of  
Christianity

## 書評 Book Review

- 王 欽 交換様式と「力」の生成—『力と交換様式』について  
廖 欽彬 二つの「マルクスに戻れ」のディスコース  
—柄谷行人の『力と交換様式』を読む  
【書評会】藤田正勝『親鸞—その人間・信仰の魅力』  
名和達宣 京都学派と親鸞—近代日本思想史の見地から  
青柳英司 「悪の自覚」を中心に—大谷派教学の見地から  
佐々木大悟 哲学的立場と教理史的立場—本願寺派教学の見地から  
浦井 聡 浄土の位置づけをめぐる—宗教哲学の見地から  
藤田正勝『親鸞』書評会 討議記録

求真会

2023

ISSN:2436-5823